

の身を切ってやっている。要するにやる気がないと言われても仕方がない。

町長 国保の被保険者は減少して行く中で、今後税率を改正していくことも検討しなければならぬ。基金を投入することはきびしい。国・県全体でお願いすると言う事が肝要だと私は思っています。

やる気になれば財源はある

永田 基金は過去10年間足りなくなったことはない。全国の市町で実施しているとりくみは、自分たち

の身を切ってやっている。要するにやる気がないと言われても仕方がない。

「くらし一番」をスローガンとする町政ならば、実現に向けた検討を求める。

いま全国の市町村で、こども達の均等割については免除するという自治体が増えていきます。また、県下の市町でも高すぎる国保税の負担を抑えようと、自治体独自の負担を行っているところがあります。佐々町でも、高すぎる保険税の引下げに向けて、一緒に声を上げていきましょう。

「町内循環バス」実現へ 決断を急いで

永田議員は「町内循環バス」の実現に向けて、6月

議会で町長が「地域福祉計画の中で検討する」と答弁していたので、具体化検討

の状況を確認しました。質疑のやりとりは次のようなものでした。

永田 町内循環バスの有用性は論を待たない。検討状況と今後のスケジュール

かい勝手改善、「使用期間の制限を撤廃し通年的に利用できるようにしてほしい」「2人で利用するときは2枚、3人の時は3枚など、チケットを出し合っただけで利用できる改善」などは検討しているのか。

中枢連携都市圏加入の 議論について

9月議会では、昨年否決した「中枢連携都市圏加入」を促進せよという決議が、賛成多数で議決され、

佐々町も加入する動きが進んでいます。永田勝美議員は次のような、質疑・反対討論を行いました。

西九州広域都市圏参加については、昨年12月議会で否決となりました。

今回、「参画することに関する決議」とされていますが、

1 点目の質問は、文面にある、否決の意見について、「ギャンブル依存症への懸念」とされていること

に関して、なにか懸念が解消されるような変化があったのかという事です。

ご承知のように、IRがカジノ抜きでは成り立たないものであるという事は、

さらに、「アクセル踏み違い防止」装置への補助は検討しているのか。

町長・担当課長 10月の委員会が終われば、「タタキ台」的な素案を示せるのではないかと。計画の仕上げは年度の後半ということ

者のみなさんは賛同するということをお考えなのかという事です。

こども達に負の遺産を残してはならないという、町民の多くのみなさんからご意見をいただきましたがそのようにはお考えにならないのかという点です。

3 点目は、佐世保市との連携は、対等平等のものであることが大前提であると

考えますが、そのことについて、中枢連携という今回の広域都市圏連携では対等でないという前提で作られています

が、それでも連携すべきというお考えなのか。

4 点目は、医療・福祉・ゴミ処理施設・生活関連の問題など連携しなければはじまらないと述べられています

ですが、その根拠をお示しく

ださい。

い。

なぜなら、医療連携は、

県の2次医療圏の中ですので

に実施されており、福祉水準は佐々町が佐世保市と比べて遜色を来す状況にはない

という事です。多くのボランティアのみなさんや関係者の努力で全国表彰まで受ける水準が確保されている

ではありませんか。

反対討論

なんらの変化も示されていない連携に、何の条件も

つけないで参画をすすめることは、まさに寄らば大樹

のかげ・何事も佐世保市まかせと言う事になるのではありませんか。

いま求められるのは、必要な主張をきちんと行い議論を重ねていくことこそが、求められているではありませんか。

よって、今回の「促進」決議には反対いたします。